

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)Tステージ昭和町 計画	階数	地下1階地上15F
建設地	豊田市昭和町二丁目33-1、33-2、33-3	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域、居住誘導区	平均居住人員	126 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2020年5月14日
敷地面積	995 m ²	作成者	小澤佳子
建築面積	339 m ²	確認日	2020年5月18日
延床面積	4,289 m ²	確認者	鈴木幸男



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.1 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆☆☆ 100%: ★☆☆ 100%超: ★</p> <p>標準計算</p> <ul style="list-style-type: none"> ①参照値: 100% ②建築物の取組み: 80% ③上記+②以外の: 80% ④上記+: 80% <p>(kg-CO₂/年・m²)</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.8</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.4</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 1.8</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.8</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3</p>

3 重点項目	
<p>①地球温暖化への配慮</p> <p>3.7</p>	<p>③敷地内の緑化</p> <p>1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>32.6 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.0 %</p>
<p>②資源の有効活用</p> <p>2.9</p>	<p>④地域材の活用</p> <p>1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部							住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄			評価点	評価点	重み 係数	評価点	評価点	重み 係数	重み 係数		
Q 建築物の環境品質													2.8
Q1 室内環境													3.4
1 音環境													3.5
1.1 室内騒音レベル													
1.2 遮音													
1 開口部遮音性能													3.0
2 界壁遮音性能													5.0
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)													3.0
4 界床遮音性能(重量衝撃源)													3.0
1.3 吸音													3.0
2 温熱環境													3.4
2.1 室温制御													
1 室温													3.0
2 外皮性能													3.0
3 ゾーン別制御性													3.0
2.2 湿度制御													3.0
2.3 空調方式													3.0
3 光・視環境													3.3
3.1 昼光利用													
1 昼光率													3.0
2 方位別開口													3.0
3 昼光利用設備													3.0
3.2 グレア対策													
1 昼光制御													3.0
3.3 照度													3.0
3.4 照明制御													3.0
4 空気質環境													3.5
4.1 発生源対策													
1 化学汚染物質													3.0
4.2 換気													
1 換気量													3.0
2 自然換気性能													3.0
3 取り入れ外気への配慮													3.0
4.3 運用管理													
1 CO ₂ の監視													3.0
2 喫煙の制御													3.0
Q2 サービス性能													2.9
1 機能性													2.5
1.1 機能性・使いやすさ													
1 広さ・収納性													3.0
2 高度情報通信設備対応													3.0
3 バリアフリー計画													3.0
1.2 心理性・快適性													
1 広さ感・景観 (天井高)													3.0
2 リフレッシュスペース													3.0
3 内装計画													3.0
1.3 維持管理													
1 維持管理に配慮した設計													3.0
2 維持管理用機能の確保													3.0
2 耐用性・信頼性													3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振													
1 耐震性(建物のこわれにくさ)													3.0
2 免震・制震・制振性能													3.0
2.2 部品・部材の耐用年数													
1 躯体材料の耐用年数													3.0
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔													5.0
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔													3.0
4 空調換気ダクトの更新必要間隔													3.0
5 空調・給排水配管の更新必要間隔													5.0
6 主要設備機器の更新必要間隔													3.0
2.4 信頼性													
1 空調・換気設備													3.0
2 給排水・衛生設備													3.0
3 電気設備													3.0
4 機械・配管支持方法													3.0
5 通信・情報設備													3.0

3 対応性・更新性				0.2	3.0	0.29	3.3	3.3	1.00	3.2	
3.1 空間のゆとり			②	階高2.91mです。			3.6	3.6	0.50		
1	階高のゆとり			-	3.0	-		4.0	0.60		
2	空間の形状・自由さ			3.0	3.0	-		3.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり					3.0	3.0	-	3.0	0.50		
3.3 設備の更新性					1.0	3.0	1.00	-	-	-	
1	空調配管の更新性				3.0	0.17		-	-	-	
2	給排水管の更新性				3.0	0.17		-	-	-	
3	電気配線の更新性				3.0	0.11		-	-	-	
4	通信配線の更新性				3.0	0.11		-	-	-	
5	設備機器の更新性				3.0	0.22		-	-	-	
6	バックアップスペースの確保			3.0	0.22		-	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30		-	-	1.8	
1 生物環境の保全と創出			独自③		1.0	0.30		-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮			独自④		2.0	0.40		-	-	2.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	2.5	0.30		-	-	2.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			独自④		2.0	0.50		-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上					3.0	0.50		-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-		-	-	3.3	
LR1 エネルギー					-	0.40		-	-	3.8	
1 建物外皮の熱負荷抑制				省エネ法等級4を満たしています。			3.0	4.0	0.33		4.0
2 自然エネルギー利用				3.0	2.0	0.17		-	-	2.0	
3 設備システムの高効率化				BEI=0.80です。			3.0	5.0	0.33		5.0
4 効率的運用				0.1	3.0	0.17		-	-	3.0	
集合住宅以外の評価					-	-		-	-		
4.1 モニタリング				3.0	3.0	-		-	-		
4.2 運用管理体制				3.0	3.0	-		-	-		
集合住宅の評価				1.0	3.0	1.00		-	-		
4.1 モニタリング					3.0	0.50		-	-		
4.2 運用管理体制					3.0	0.50		-	-		
LR2 資源・マテリアル					-	0.30		-	-	2.8	
1 水資源保護				0.1	3.0	0.15		-	-	3.0	
1.1 節水					3.0	0.40		-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.0	0.60		-	-		
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	3.0	1.00		-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	3.0	-		-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	2.8	0.63		-	-	2.8	
2.1 材料使用量の削減					3.0	0.07		-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.25		-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			②	-	3.0	0.21		-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			独自	-	3.0	0.21		-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	-	-		-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			独自	躯体+軽鉄+仕上材のディールを採用しています。			3.0	4.0	0.25		
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	3.0	0.22		-	-	3.0	
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	3.0	0.32		-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	3.0	0.68		-	-		
1 消火剤					-	-		-	-		
2 発泡剤(断熱材等)					3.0	1.00		-	-		
3 冷媒				3.0	-	-		-	-		
LR3 敷地外環境					-	0.30		-	-	3.3	
1 地球温暖化への配慮			①	ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物と同等以上になりま			-	3.7	0.33		3.7
2 地域環境への配慮				0.3	2.9	0.33		-	-	2.9	
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25		-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善					3.0	0.50		-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	2.7	0.25		-	-		
1 雨水排水負荷低減			独自		3.0	0.25		-	-		
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25		-	-		
3 交通負荷抑制			独自		3.0	0.25		-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制					2.0	0.25		-	-		
3 周辺環境への配慮				0.3	3.2	0.33		-	-	3.2	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40		-	-		
1 騒音			独自		3.0	1.00		-	-		
2 振動			独自		-	-		-	-		
3 悪臭					-	-		-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				0.4	3.0	0.40		-	-		
1 風害の抑制					3.0	0.70		-	-		
2 砂塵の抑制					3.0	-		-	-		
3 日照障害の抑制					3.0	0.30		-	-		
3.3 光害の抑制				0.2	4.4	0.20		-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				広告照明を設けたり、外に漏れる照明を点滅させたりしません。				5.0	0.70		
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30		-	-		

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

(仮称)Tステージ昭和町 計画

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.7
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.7	0.10	
② 資源の有効活用				2.9
Q2-2	耐震性・信頼性	3.2	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.8	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:32.6%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)Tステージ昭和町

計画上の配慮事項	
総合	外皮に十分な断熱性能を施して熱損失を抑制すると共に、高効率機器を採用しています。
Q1 室内環境	F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用し、化学汚染物質による空気質汚染を回避しています。
Q2 サービス性能	給排水配管において更新必要間隔の長い配管を使用したり、維持管理しやすい設計となっています。
Q3 室外環境(敷地内)	特になし。
LR1 エネルギー	設備に関してLED照明を採用するなど、高効率設備を導入し、環境負荷への配慮をしています。 また、外皮結果は等級4を満たしています。
LR2 資源・マテリアル	LGS+PBにして再利用向上へ取り組んでいます。躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用しています。
LR3 敷地外環境	特になし。
その他	特になし。